

生活指導だより

令和6年3月22日発行 生活指導部

1年間を振り返る…

修了式は終わりと同時に新たなスタート地点に立つ日



3月25日(月)は修了式になります。3学期の終業式であるとともに、現在の学年で学ぶことのすべてを終え、次の学年へ進級することが認められる式でもあります。当日は、その緊張感をもちながら式に臨み、新しい学年への決意を一人一人が態度で示せるようにしましょう。

そして、学活で受け取る通知表を見て、1年間を振り返り、次年度への対策を家族の方とも話し、春休みを利用して進級の準備をしてください。

ありがとう3年生！



校庭も使用できるようになり、すべてが揃った中での運動会や文化発表会を実施することができました。運動会ではダンスやいわにソーランを通して最上級生の姿を在校生、保護者や地域の皆さんに伝えることができたのではないのでしょうか。文化発表会では、3年生の成長した歌声が1・2年生にとってレジェンドとして引き継がれたのではないのでしょうか。部活動や委員会活動、また日常生活で、3年生が最高学年としての姿を随所に示してくれたことに感謝しています。卒業式では卒業生はもちろん、参列してくれた2年生が小岩二中の卒業式にふさわしい、とても立派な態度と姿勢で臨んでくれました。

～新しい学年となる決意を態度で示す～

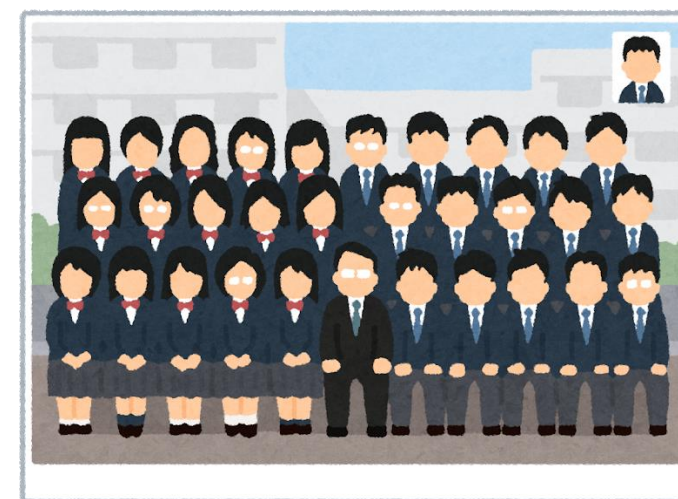
4月から、1、2年生は進級します。

2年生は小岩二中の最高学年となり、言動や行動の一つ一つが、二中の評価につながります。また、進路や将来のことを真剣に考え、現実と向き合い、一人一人が自分の歩む道を決定する年にもなります。

学習面では、予習復習はもちろんのこと、家庭学習を重ねて、円滑な進路選択に結びつけることが大切です。また、行事では、言葉だけでなく態度で後輩をリードし、「さすが3年生」と感じさせるように、一人一人が「力」を発揮してくれることを期待しています。

1年生は、初めて先輩という肩書がつきます。中学校2年生という時期は、学習も部活動も中学3年間で最も充実した1年になると言われています。後輩を迎えて、見せかけだけで先輩ぶることなく、新入生が「やっぱり中学生ってすごい」と感じるような言動を期待します。また、学習面では、1年生の内容が土台になり、一段と難しくなります。「あたりまえのことをきちんとできること」が、一つ一つの課題を解決する方法です。

中学生は、思春期真っ只中で、思いどおりにいかないことや、自分と他人との差異に不安になることが多い時期でもあります。でも、自分を見つめて、長所を伸ばし、短所や課題をできることから克服していくしかありません。新しい学年での成長と活躍を楽しみにしたいです。



春休みの生活について

3月26日（火）から4月7日（日）までの期間は、春休みとなります。わずか13日間ですが、休み明けにはクラス替えがあり、環境が大きく変わります。春は、期待と不安が入り混じる季節でもあります。

関係機関の方の話では、家出や非行という問題行動は、3月から4月にかけて増える傾向があります。新しい環境への不安やストレスなどが理由として挙げられることが多く、「自分は大丈夫」と考えている人も、トラブルに巻き込まれてしまうことがあります。休み中の行動に十分注意し、新しい環境への準備を進めてください。休み中に心に留めておいてほしいことを挙げましたので確認してください。

○生活のリズムを崩さない

起床や就寝の時間が大きく変わることがないようにする。

○外出する場合は保護者に確認をとる

「誰とどこへ行き、いつ頃帰るか」を家族に伝える。

○外泊はしない

午後6時には帰宅する。無断で外泊はしない。

○新学期に向けた準備を早めに済ませる

制服のクリーニングや新しい学用品などの準備を済ませておく。

○普段付き合いのない人や先輩などの誘いには乗らない

道や店などで声を掛けられても誘いには乗らず、物やお金を要求されても渡さない。

○個人情報教えない

自分を含めて友達の個人情報もむやみに、他人に教えないようにする。家庭に対して様々な手口を使って、住所や電話番号といった個人情報を聞き出そうとしたり、業者と偽って教材を販売しようと電話や手紙が来たり、恐喝まがいにお金を振り込ませようとする電話が入ったりすることがあります。しつこく頼まれたときは「分かりませんので、学校に直接聞いてください」と答えて電話を切るようにしてください。また、様々な勧誘の電話にも安易に話を合わせたり、承諾したりすることがないようにしてください。「おかしい電話だな」と思ったら、家の人に代わる（代わるふりをするだけでもよい）、後でかけ直す旨を伝えて電話を切ることが大切です。

○不審者、誘惑に注意をする

近隣の地域では、不審者の出没が報告されています。中高生の問題行動が増える時期でもあります。春休み中も身の回りに、様々な危険が潜んでいることを意識して、気持ちを引き締めて生活するように保護者の方からもご指導をよろしくお願いいたします。



万一（緊急）の場合は、次の手順で対応することを基本と考えてください。

①安全の確保と事実の確認→②対応を警察（関係機関）に相談→③学校へ報告

- ◎ 小岩第二中学校 : 電話 3657-1916
- ◎ 警視庁小岩警察署 : 電話 3671-0110(代) 担当：生活安全課少年係
- ◎ 警視庁江戸川少年センター : 電話 3651-8567
- ◎ 警視庁総合相談センター : 電話 #9110または3501-0110
- ◎ 江戸川区役所 : 電話 3652-1151

わが子の小さな変化(サイン)を見逃さない

大きな問題の発生の前には、必ずと言っていいほど小さな問題が発生しています。子供たちを危険から守っていくためには、日頃から私たち大人が子供たちに関心をもち、気にかけていくことが大切です。以下のようなことがあれば、注意が必要です。

【ご家庭でこんなサインは見られますか？】

- 朝、起きられない、頭痛や発熱を訴える。
- 所持品の変化、高価なものがある。
- 友達関係がかわる。他の学校の生徒とのつながりが見られる。
- 粗暴な振るまいが増える（言葉遣いが荒い、物を壊す、親や兄弟への暴力 など）。
- 帰りが遅くなるが増える。
- 閉じこもりがちになる（学校に行きたがらない）



子供たちの心に寄り添うために、心がけたいこと

- 子供とのコミュニケーションの場を意図的に持ってください。（返事がそっけなくても「気にかけている」という姿勢が大切です）
- 生活習慣を整えるようにお願いします。（「早寝・早起き・朝ごはん」や「身だしなみ」など）

☆ 一人で抱え込まずに学校や関係諸機関にご相談ください。

保護者の皆様へ

本年度も保護者の皆様には、多くのご理解ご協力、またお力添えをいただきありがとうございました。心より感謝申し上げます。お子様の成長を心より願うとともに、来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

